



T・ZONE NEWS

商号:株式会社T・ZONEホールディングス
 設立:1975年8月26日
 資本金:29億81百万円(2004年9月末現在)
 本社事務所:〒103-0012
 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 YOUビル8階
 TEL 03-5643-0620 FAX 03-5643-0627

T・ZONEホールディングスの投資戦略と企業経営!!

経営スタイル:21世紀型企業グループのパイオニア、従来の企業グループとは全く異なる新しいタイプ(21世紀型)の企業グループを形成

我々の3つの顔:パリューストック投資・超長期投資家の顔/インキュベーターの顔/企業再生、再構築家の顔



株主ならびに投資家の皆様へ

平成15年8月から純粋持株会社となりましてT・ZONEホールディングスは主にこの1年間3つの活動を行ってきました。即ち、

- ①パリューストック投資・超長期投資
- ②子会社のインキュベーター
- ③企業再生、再構築(M&A)の3つです。

我々は、株主からのエクイティ資金を3つの分野に適時効率的に投資し、T・ZONEホールディングスの1株当たりの内在価値を最大限に高めることを目的として、今後も活動していく予定です。

我々の経済的な目標は長期的視野に立ったものであり、また、よって我々の投資方針は経営方針に賛同して下さる長期保有株主は、我々の事業の部分的なオーナーと捉え



(株)T・ZONEホールディングス 代表取締役 吉田 直樹



当社ホームページアドレス <http://www.tzone.com/corporate/top.htm>

T・ZONEってどんな会社ですか?

T・ZONEと言えば、T・ZONE DIYパソコン関連製品ショップをメインに事業展開している会社とイメージされている方が多いのではないのでしょうか。T・ZONEは、実際上、昨年2003年に生まれ変わった産まれたばかりの新しい会社と言っても差し支えないかもしれません。元々は店舗運営の会社を出発としていますが、現在は、T・ZONEホールディングスとして純粋持株会社となっております。昨年から今年に掛けて持

T・ZONEは生まれ変わりました

株主である我々のビジネスが漸く認知された時期であると考えています。

みなさんにお馴染みの従来の「T・ZONE」は、2003年8月新設分社化し、親会社「T・ZONEホールディングス」の子会社「T・ZONE DIY」となりました。引き続き皆様によりよい商品を提供すべく、サービス向上に努めて参ります。

T・ZONEは事業戦略的にどう変わったのですか?

私たちは常に将来を展望しながら事業展開を行って参ります。商号を「T・ZONEホールディングス」と変更し純粋持株会社となり、さまざまな業界にまたがる関連会社からなる一大企業グループを形成するという事業戦略を強く打ち出すためです。

例えば、具体的にお話しますと大きく分けて、3つの顔を持っていきます。

- ①パリューストック投資・超長期投資家の顔
- ②インキュベーターの顔
- ③企業再生、再構築家

現在の事業展開についてお聞かせください。

現在2つの方向性で動いていきます。

- 1つはすでに蒔かれている種を育てていくこと。
- 2つ目は、新しい投資先を積極的に探し、いくことです。

勿論市場だけが利益を得るのではなく積極的にM&Aも行っていきます。また、市況は常に変化し続けていますので我々も新しい手法を常に探っていきます。

我々が「3つの顔」を持っていることには、単に株式投資を行い株価差益だけで利益をあげるという「コーポレート・ファンド」とは違う差別化された投資ビジネスを展開しているといえます。我々は株式が低迷する状況化においても、企業再生、再編成することに専念することが出来る顔を持っているのです。

そういった意味で株式市況だけに左右されなくても済むわけですね。これは我々経営者の腕の見せ所でもあります。私達にとってこの1年は、今までに無かった新しいビジネス、3つの顔を持つ投資家の「パイオニア」として十分認知して頂いた時期であったと考えています。

我々は次にやるのが、今明確に見えています。これからは成功例を楯にしていく時期に入ったと考えています。第一弾がマルマン株式の株式公開でもある訳です。そういった意味では、社内目標を定めやすい環境の揃った会社でもあります。当然この結果は株主の皆様にも還元されることと思えます。

賢明なる投資家、投資対象を選ぶに優れた能力。パリューストック投資・超長期投資家の顔について具体的な話をして頂けますか?

T・ZONEは現在、5つの上場企業の株式を大量保有発行済み株式の5%以上しています。個々の企業は公開企業の為、詳細の解説はここでは行いませんが、いずれも素晴らしい企業であり、優れた経営陣により運営されています。

5つの企業を選択した理由は何ですか?

5つの企業を選択したポイントは主に次の理由からです。

- ブランド力がある。
- 無借金経営(もしくは現預金有利子負債を上回っている)
- ROA・ROEが高い
- 過去のトランクリッド

5つの企業を選択した投資意思決定における判断基準を教えてください。

我々の投資意思決定における基準は、長期ROA、純資産倍率、推定妥当株価、IRR基準によるものです。私たちが選択した5つの上場企業はいずれも持続的に自動的に成長しているビジネスモデルを確立している企業であり、かつ、将来どのような経済社会環境にも耐えうる企業である見込みで投資しているのです。これと安定的な配当収入があることも重要なポイントとして考えております。

T・ZONEホールディングスの投資理念についてお聞かせください。

我々が選別した企業は他にも数社ありますが、我々の基準で考えるところの「パリューストック」に該当する企業は、現実的な投資先としております。水準の価値比較して株価が高い場合我々は資金を投下することは致しません。

T・ZONEホールディングスの投資理念についてお聞かせください。

我々が選別した企業は他にも数社ありますが、我々の基準で考えるところの「パリューストック」に該当する企業は、現実的な投資先としております。水準の価値比較して株価が高い場合我々は資金を投下することは致しません。

我々は次にやるのが、今明確に見えています。これからは成功例を楯にしていく時期に入ったと考えています。第一弾がマルマン株式の株式公開でもある訳です。そういった意味では、社内目標を定めやすい環境の揃った会社でもあります。当然この結果は株主の皆様にも還元されることと思えます。

T・ZONEキャピタルが投資する5つの企業

- ピオフェルミン製薬株式会社**
(大阪証券取引所1部上場4517)
株式保有率21.31%(2004年9月24日現在)
ホームページアドレス <http://www.biofermin.co.jp/>
- エステー化学株式会社**
(東京証券取引所1部上場4951)
保有率8.61%(2004年9月24日現在)
ホームページアドレス <http://www.st-c.co.jp/>
- 理研ビタミン株式会社**
(東京証券取引所2部上場4526)
保有率12.21%(2004年9月24日現在)
ホームページアドレス <http://www.nike-vita.co.jp/>
- ミヤコ株式会社**
(JASDAQ 3242)
保有率10.33%(2004年9月24日現在)
ホームページアドレス <http://www.miyako-inc.jp/page/kaisyannai/set/annaiset.htm>
- 佐藤食品工業株式会社**
(JASDAQ 2814)
保有率10.03%(2004年9月24日現在)
ホームページアドレス <http://www.sato-foods.co.jp/>

株主優待制度は株主の皆様と共に繁栄の喜びを共有するためです。

1.株主優待制度の目的

昨年より株主優待制度を導入いたしました。今回の優待制度の特徴として、株式の保有年数に対応して累進するご優待があげられます。私共の最大の願いは、超長期保有の株主様と共に繁栄の喜びを共有していきたいと考えているからであります。

2.株主優待の方法

毎年3月31日現在の株主様及び実質株主様に対し、当社子会社であるマルマン株式会社製品、具体的には、ゴルフ用品及び健康食品と交換できる優待券を年1回、以下の基準により発行いたします。

(1)贈呈基準

平成16年3月31日現在の株主様に対し、次の通り保有株式数に応じて優待券を贈呈します。

保有株券数と贈呈優待券

100株以上1,000株未満	1,000円分
1,000株以上10,000株未満	3,000円分
10,000株以上	5,000円分

平成17年3月期以降、株の保有年数に応じて優待券の金額を増やしております。

(詳しくは弊社ホームページの株主優待制度をご参照下さい)
但し保有開始の基準日を平成16年3月31日とし、4年目以降は3年目と同額とします。

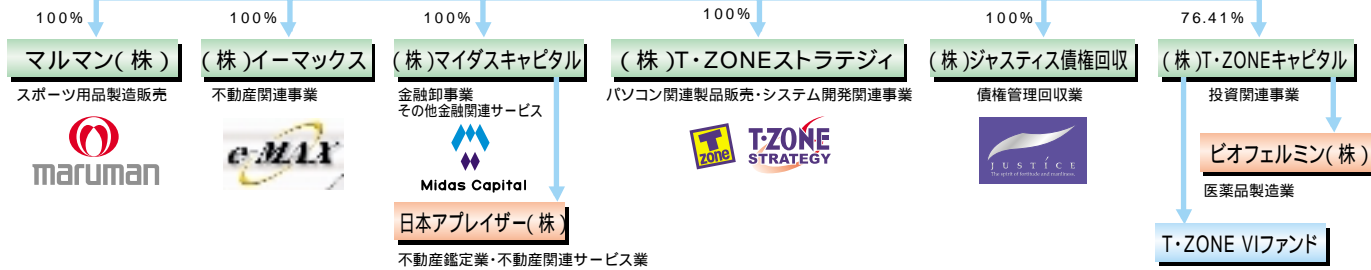


賢明なる投資家は、自然に発生する機会を利用し、機会が訪れるとその機会に乗ずる。感情的な投資家は燃え尽きてしまう。賢明なる投資家は、最高の機会を待つことである。この方法は将来に多くの機会があることを知り、長く持てば持つほど良い機会があることを示してくれる。感情的な投資家は頻りに変わる。そして、時間だけが重要になってくる。



T・ZONEホールディングスのグループ構造

(株)T・ZONEホールディングス (JASDAQ8073)



子会社経営原則

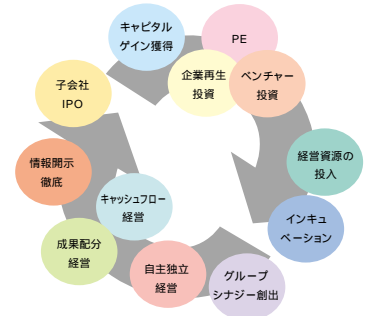
既存事業の収益力の追求 独立採算性、自主独立性 情報公開

業績成果(収益力)に基づく成果配分 全社IPO

T・ZONEホールディングスは子会社のIPOで得たキャピタルゲインを再投資し、グループ企業価値維持・向上を常に目指す企業グループです。

既存の子会社群は再編の上、全てIPOを目指しています。

会社	決算期	現況
マルマン	9月	前期より大幅な増収増益が確定。ゴルフ部門の国際販売、健康食品部門の売上拡大に伴い、今後更なる業容拡大を予定。
イーマックス	7月	2004年8月1日に(株)ウチダハウスを吸収合併。売上100億超、経常利益7億超の規模に。更なる業容拡大を図り、今期は支店を展開中。
T・ZONEストラテジー	3月	(株)T・ZONE DIYと(株)ストラテジーが10月22日に合併して商号変更。売上60億超、経常利益4億超の規模に。
マイダス・キャピタル	7月	10月4日に日本アプレイザー(株)を100%子会社化。又、従来の卸金融事業に加えて、賃貸保証サービス事業を確立中。
ジャスティス債権回収	7月	実質立上げ初年度より黒字化。今期は大幅な業績拡大を予定。



「既存客の掘り起こし」で業績も上昇気流。



週間ダイヤモンド5月号より抜粋

どうして高級クラブが飛ぶようにお客様の声を活用しお客様とのコミュニケーションを大切に...

事業再生プロジェクトで再スタートを切り、このところマスコミでも業績好調が伝えられています...

マルマン社長 大隈宏昭氏へ直撃インタビュー... 製造販売に乗り出し時期ミスに次ぐナンパッパにまでの上がった実績を...



マルマン(株) 大隈宏昭社長

目下、当グループIPO第1号に向けて順調に進んでいるマルマン。

海外市場への事業展開はどのようになっていますか... 現在は技術に後押しされた高級...

マルマンの食品部門で全国的に馴染みのあるブランド商品はありますか... マルマンの食品部門では、皆様にお馴染みの...



健康食品部門においては、ドラッグストアや大手総合スーパーなどのいわゆる店舗ネットを主たる販売経路として... 生活習慣病などに対応した一般機能性...

